

科目名 Course Name	介護総合演習Ⅲ Care Practice Support III				ナンバリング No.	J2-012	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程は必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>高齢者の生活背景について学習し、利用者理解につなげる。また、自立やQOLの視点を持ち、社会参加や余暇活動、レクリエーション活動を通して、その人らしい生活を支える方法を学ぶ。</p> <p>①その人らしい生活を支える余暇活動やレクリエーションの意義を説明できるようにする。                  ②現在までの出来事や文化等を調べ、高齢者の生きてきた時代をイメージできるようにする。                  ③季節や行事に応じた壁面飾り等を作成できるようにする。                  ④利用者との話題が増えるようにする。                  ⑤利用者の自立とQOLの向上を目指し、個性を活かした余暇活動やレクリエーション活動を実施できるようにする。</p>						
授業の方法	個人ワークまたはグループワークが中心となる。演習科目であるが、余暇やレクリエーションに関する講義も取り入れる。						
学習成果	L01	生活を豊かにするレクリエーション活動を企画、提案、実施することができる。					
	L02	利用者視点で行動し、その人らしい生活を支援することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	各発表会後は教員が講評しフィードバックする。						
教科書/参考図書	必要に応じて資料を配布する。 【参考図書】最新・介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術Ⅰ」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発表会は、ワークの進捗状況によって日程を調整する場合がある。詳細は随時連絡する。</li> <li>●教材以外のものは机上に置かない。</li> <li>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</li> </ul>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業に集中し、必要なことはノートにとっている。②課題の提出期限を守っている。③積極的に参加している。	20			
レポート/作品	【レポート1】実習体験を挙げ、利用者の行動変容を記述できている。 【レポート2】演習を振り返り、レクリエーション援助の視点で自分の考えをまとめている。	20			
発表	高齢者の生活背景を調べた内容と発表態度を評価する。S 評価は、詳細に調べ、発表資料が見やすいこと。わかりやすい発表であること。		20		
小テスト					
試験	福祉におけるレクリエーションについて、記述形式で出題する。		20		
その他	季節のプレゼントカードと発表態度を評価する。作品の工夫や利用者への配慮、発表時のプレゼンテーション力を評価する。		20		
合計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 余暇生活・レクリエーションの意義と目的
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理する。余暇生活とレクリエーションについて、ノートにまとめておく。
2	授業内容	生活とレクリエーション 【レポート1:施設におけるレクリエーションについて、提出は次回授業時】
	事前・事後学習	基礎実習Iで体験したレクリエーションを振り返る。レポート1を作成する。
3	授業内容	高齢者の生活背景① 演習の目的と方法、ワークの進め方
	事前・事後学習	文献やインターネットを活用し、昭和時代を調べる。指定用紙にまとめる。
4	授業内容	高齢者の生活背景② 個人ワーク(昭和時代の主な出来事を調べる)
	事前・事後学習	文献やインターネットを活用し、昭和時代を調べる。指定用紙にまとめる。
5	授業内容	高齢者の生活背景③ 個人ワーク(昭和時代の文化や流行、生活様式を調べる)
	事前・事後学習	文献やインターネットを活用し、昭和時代を調べる。指定用紙にまとめる。
6	授業内容	高齢者の生活背景④ 発表会、振り返りとまとめ(高齢者の生活背景と介護) ※発表会は別日程で行う場合もある。
	事前・事後学習	文献やインターネットを活用し、昭和時代を調べる。指定用紙にまとめる。 発表の準備、練習。
7	授業内容	高齢者の生活背景⑤ 流行歌や歌謡曲からみる時代背景
	事前・事後学習	高齢者の生活背景に関する資料を読む。昭和時代の流行歌や歌謡曲を聞く。
8	授業内容	施設におけるレクリエーション(年中行事の由来と風習、人生儀礼など)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理する。日常生活の中での年中行事や関連する話題に興味をもつ。
9	授業内容	生活に彩りを添える季節のプレゼントカード作成① 演習の目的と方法、個人ワークの進め方
	事前・事後学習	季節やカードのテーマに応じて必要事項を調べる。プレゼントカードの作成。
10	授業内容	生活に彩りを添える季節のプレゼントカード作成② 個人ワーク(カードの構成)
	事前・事後学習	プレゼントカードの作成。
11	授業内容	生活に彩りを添える季節のプレゼントカード作成③ 個人ワーク(素材の工夫)
	事前・事後学習	プレゼントカードの作成。
12	授業内容	生活に彩りを添える季節のプレゼントカード作成④ 個人ワーク(利用者への配慮を考える)
	事前・事後学習	プレゼントカードの作成。発表の準備、練習。
13	授業内容	生活に彩りを添える季節のプレゼントカード作成⑤ 発表会、振り返りとまとめ(制作のポイントと留意点) ※発表会は別日程で行う場合もある。 【レポート2:カードの作成と発表会の感想と学び、提出期限は授業で指示する】
	事前・事後学習	制作のポイントと留意点をまとめる。発表会後はレポート2を作成する。
14	授業内容	レクリエーション・ニーズ、援助のプロセス、レク財の選択とアレンジ、社会資源の活用
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理する。これまでの体験等をもとに、レクリエーション財の選択とアレンジ方法を考えてみる。地域の社会資源を調べてみる。
15	授業内容	レクリエーション活動の実際、介護総合演習IVの課題(福祉用具試作品作製)の説明
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理する。療法を取り入れたレクリエーションを調べてみる。伝承遊びに興味をもつ。福祉領域におけるレクリエーションについて、自分の考えが述べられるようにする。